

令和3年度 社会福祉法人八幡平市社会福祉協議会 事業報告

1 概要

新型コロナウイルス感染症の蔓延により、社会経済活動や日常生活への影響が長期化しています。

事業の実施にあたっては、新型コロナウイルス感染症拡大予防のため、参加人数の制限や事業規模縮小などの対策を講じ安全面を優先しながら事業を進めましたが、市内での感染拡大が懸念され中止せざるを得ない事業もありました。

一方で、依然として厳しい経済状況の中、生活に困窮した世帯からの相談も増加しており、その支援として、生活福祉資金の緊急小口資金と総合支援資金の特例貸付けを行うとともに、はちまんたい暮らしの支援室と連携し食料支援や自立に必要な情報提供・助言を行うなど継続した相談支援を実施しました。支援にあたっては、市内の団体からの寄付を受けた保存食に加えて広く市民に食料品や生活用品の寄付を呼びかけ、ひとり親世帯や生活に困窮している世帯へ支援を行う「はちまんたい暮らし応援プロジェクト」を実施し、地域での支え合いに取り組みました。

また、令和3年度は、平成31年3月に策定した第3次地域福祉活動計画の中間年度にあたることから、各種事業の実施状況の評価や課題を分析し、新型コロナウイルス感染症の影響や地域福祉を取り巻く状況を踏まえ、事業項目ごとに今後の取り組みの方向性などについて見直しを行いました。

さらに、重点項目の一つであり本年度新たに取り組んだ生活支援体制整備事業では、専任のコーディネーターを配置し、日常生活上支援が必要な人が住み慣れた地域で安心して暮らすことができる地域づくりに向けて、事業の周知と住民主体の支え合いの意識醸成、地域の生活状況や生活課題の把握に取り組みました。

基本目標に掲げる「誰もがこの地域で安心して暮らすことのできるしあわせの郷づくり」をめざして、地域住民やボランティア、関係機関・福祉団体等との連携・協働で取り組み、コロナ禍においても、人と人のつながりや地域の支え合いを途切れさせないよう、各種事業を推進してまいりました。

2 地域福祉活動の推進

(1) 機関紙「福祉だより」発行

令和3年7月、10月、12月、令和4年3月に各回8ページ構成で年4回発行。市内全世帯、関係機関あてに配布。

(2) ホームページによる情報提供

全国にむけての情報発信媒体であるホームページをリニューアルし、行事予定や福祉サービスなどの情報を発信。年度内随時更新。

また、社会福祉法人の情報公開として、現況報告書及び財務諸表を掲載した。

(3) 社会福祉大会開催

「第16回八幡平市社会福祉大会」
期日：令和3年11月13日（土）
会場：八幡平市西根地区市民センター（88人出席）
表彰：社会福祉事業功労者 16人、
ボランティア活動功労者、団体 個人2人・団体3、
褒賞 1人、福祉健康標語入選者 32人

(4) 福祉まつり開催

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止

(5) 地域福祉懇談会開催

さまざまな地域福祉の課題を掘り起し、今後のあり方を探ることを目的に開催。福祉関係者ほか地域住民を対象に開催した。テーマを「みんなで考える地域の支え合いの仕組みづくり～地域に暮らす高齢者の声から～」とし、地域における生活課題などについて意見交換した。

西根会場 令和3年11月4日（木）八幡平市西根地区市民センター 64人

- ・高齢者の配食サービスについて
- ・各種生活支援サービスの情報提供について
- ・車いす利用者の移動環境について
- ・運転免許の返納について
- ・認知症高齢者数について

安代会場 令和3年11月5日（金）安代福祉センター 33人

- ・除雪困難世帯への支援について
- ・空き家対策について
- ・高齢者などの災害避難行動について

松尾会場：令和3年11月9日（火）八幡平市総合福祉センター 49人

- ・行事不参加者への対応方法について
- ・敬老事業について
- ・ボランティア協力校の活動について

(6) ダイヤモンド婚を祝う会

期日：令和3年11月12日（金）
会場：いこいの村岩手
対象者：42組 84人
参加者：13組 24人（西根 5組 9人 松尾 1組 2人 安代 7組 13人）

(7) 八幡平市総合福祉センター管理運営

法人の基本財産であり、法人事務所の所在地。
所在：岩手県八幡平市野駄第19地割50番地
構造：鉄筋コンクリート造瓦葺平家建1棟（995.00㎡）

利用者種別利用状況

種別 項目	社 協	福祉団体	公共団体	その他	計
件 数	132 件	98 件	1 件	41 件	272 件
使用人数	1,180 人	1,305 人	20 人	347 人	2,852 人

(8) 福祉バス運行管理

ゆいっこ号 ・平成17年7月11日登録 ・定員29人

利用状況

社 協		福祉団体		公共団体		その他		計	
件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数
16 件	165 人	8 件	94 人	—	—	—	—	24 件	259人

(9) 第3次八幡平市地域福祉活動計画－中間見直し－

計画期間の中間評価として、事業の実施状況や目標の達成状況などを分析、評価するため、八幡平市社会福祉協議会地域福祉活動推進会の協議により、実績数値の更新など事業項目ごとの見直しを行った。

地域福祉活動推進会委員15人（任期：令和3年12月1日～令和6年11月30日）による地域福祉活動推進会を年3回開催、順に理事監事全員協議会、理事会および評議員会への提案を経て見直し内容が決定。

3 在宅福祉サービスの推進

(1) ひとり暮らし高齢者買い物ツアー

ひとり暮らし高齢者を対象に、買い物の機会が増えるお盆前と年末の時期に合わせ、買い物ツアーと感染症予防対策についての勉強会を実施した。

参加者延べ 68人（西根地区 35人、松尾地区 16人、安代地区 17人）

内訳）1回目（市外）平舘・寺田 8月5日 15人 松尾 8月6日 8人

大更・田頭 8月11日 9人 安代 8月12日 8人

2回目（市内）栄養・健康教室の午後に開催

松尾 12月8日 8人 安代 12月9日 9人

大更・田頭 12月14日 5人

平舘・寺田 12月15日 6人

(2) 高齢者げんきはつらつ講座

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止。

(3) 高齢者交流事業

① ふれあいいいきサロン

・小地域ごとの開催。高齢者を対象に、健康づくりや趣味活動などを実施。

- ・サロン関係者のためのサロン連絡会を地区ごとに開催した。
参加者延べ 85人 (西根地区 4月22日 32人 松尾地区 4月23日 23人
安代地区 4月27日 23人)
- ・サロンと学校の交流会開催の支援
松野小学校2年生児童との交流会
6月30日 参加者 19人 (児童 12人 サロン 5人 教師 2人)
児童によるダンス披露とレクリエーション交流
- ・看護師有資格者の臨時職員をサロンに派遣し、血圧測定や健康相談を実施。
サロン訪問 延べ48か所 88回 (西根地区 21か所 39回
松尾地区 13か所 24回
安代地区 14か所 25回)
- ・栄養士有資格者の臨時職員をサロンに派遣し、栄養・健康に関する講話を実施。
サロン訪問 延べ43か所 44回 (西根地区 19か所 20回
松尾地区 10か所 10回
安代地区 14か所 14回)

サロン開催状況

項目 地区	サロン数	会員数 (ボランティア含む)	開催回数 (延べ)	ボランティア数 (延べ)	参加人数 (延べ)
西根	27 か所	458 人	403 回	25 人	3,498 人
松尾	15 か所	214 人	139 回	37 人	1,073 人
安代	15 か所	203 人	138 回	71 人	1,009 人
合計	57 か所	875 人	680 回	133 人	5,580 人

② ひとり暮らし高齢者の集い

健康福祉課包括支援センターの講師により、「認知症予防とちょこっとコグニサイズ」と題し、認知症について、楽しみながら正しい知識を理解するための講座を開催した。

参加者 40人 (内訳) 平舘・寺田 8月5日 15人 松尾 8月6日 8人
大更・田頭 8月11日 9人 安代 8月12日 8人

③ ひとり暮らし高齢者栄養・健康教室

いきいきサロン活動支援員(栄養士有資格者)より、ひとり暮らし高齢者に向けた食に関するアドバイスや手軽なレシピ紹介を行った。(2回目買いものツアーと同日開催)

参加者 29人 (内訳) 松尾 12月8日 9人 安代 12月9日 9人
大更・田頭 12月14日 5人
平舘・寺田 12月15日 6人

④ 高齢者夫婦世帯交流会

参加者 47人

(内訳) 松尾 10月15日 5人 西根 10月19日 22人
安代 10月21日 20人

⑤ 高齢者ニュースポーツ大会

高齢者相互の親睦、健康の保持、生きがいづくりを目的に開催。

当初、ニチレクボール、フロアカール、ゲーゴルゲームの3種目での開催としていたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、ニチレクボールのみ開催。

ニチレクボール

期 日：令和4年1月19日（水）

会 場：八幡平市総合運動公園体育館

参加者：38チーム 118人

（西根 24チーム 75人 松尾 11チーム 34人

安代 3チーム 9人）

（4）高齢者見守り事業

小地域を単位とした住民主体による見守りや安否確認等の福祉活動を推進した。

① 小地域ネットワーク活動

- ・対象者：ひとり暮らし高齢者、高齢者夫婦
- ・見守り者：近隣住民等、民生児童委員

地 区	ネットワーク数	見守り者数 (延べ)
西 根	313 ネット	320 人
松 尾	181 ネット	199 人
安 代	176 ネット	228 人
合 計	670 ネット	747 人

② おげんきみまもりシステム

ひとり暮らし高齢者が毎日1回、自ら電話を利用し安否を発信する。

利用者 15人（西根地区 0人 松尾地区 2人 安代地区 13人）

（5）福祉サービス支援活動

① 高齢者食事サービス事業

安代地区 休止

② 訪問理美容サービス

65歳以上の介護保険要介護認定を受けた方、重度の身体障害のある方で、理美容店の利用が困難な方が対象。4回までの理美容券を交付。

- ・利用登録者 46人 ・実利用者数 40人 ・利用回数延べ 119回

③ 外出支援サービス

通常的手段では外出が困難な方を対象に、福祉車両による移送支援を提供。福祉有償運送事業者登録により実施した。安代支所配置の福祉車両1台を福祉基金の活用により更新した。

- ・利用登録者 24人 ・稼働日数 33日 ・移送件数 66件
- ・延べ移送人員 33人

④ 福祉用具・福祉車両貸出事業

- ・車椅子 17件 ・福祉車両 52件

⑤ 子育て支援の推進

- ・チャイルドシート貸出事業
生後1年6か月未満の乳児を対象。貸出料1回3千円。
貸出件数 3件
- ・おおぶけキッズカフェ開催への支援
主催：おおぶけキッズカフェ実行委員会
開催回数：3回

4 ボランティア活動の推進

市内のボランティア活動を促進するため、ボランティアの登録や斡旋、ボランティア保険の加入などを扱うとともに、ボランティア団体の活動に対する助成を行った。

(1) ボランティア活動センター事業

- ① ボランティア連絡協議会会議 2回開催
- ② ボランティア登録者 ・団体 20団体 330人 ・個人 33人
- ③ 介護支援ボランティア研修会への協力 年2回 受講者 7人
- ④ スノーバスターズ活動の推進

除雪が困難なひとり暮らし高齢者世帯や障がい者世帯などを対象に、除雪や巡回などを行った。

- ・西根地区 1地区 ボランティア 82人
- ・松尾地区 5支部 ボランティア 71人
- ・安代地区 1団体 ボランティア 50人 計 203人

(2) ボランティア福祉講座開催

期日：令和4年2月4日（金）
会場：西根地区市民センター（45人出席）
講話：「認知症高齢者への声かけ練習会」
講師：八幡平市健康福祉課地域包括支援センター職員

(3) ボランティア協力校事業

児童・生徒を主体とした地域のつながりを高めるため、市内の小学校から高等学校までボランティア協力校に指定。

- ① ボランティア協力校の指定
担当者会議 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止（書類送付）
市内小学校10校、中学校4校、高等学校1校
- ② 福祉健康標語
市民の福祉意識やボランティア意識を高めることを目的とし、最優秀作品（福祉の部、健康の部）2点を全世帯に配布した。
・応募数 97点 ・入選 32点

(4) 出前体験講座

市内の学校へ指導ボランティアが訪問し、高齢や障がいの疑似体験学習の指導を実施した。

- ・体験回数 16回 ・児童、生徒 241人
- ・指導ボランティア延べ 72人
- ・手話講師 3回

(5) 災害ボランティア講習会

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止

5 相談・援護活動の推進

(1) 心配ごと相談所開設事業

① 心配ごと相談所運営委員会 2回

② ふれあい相談所開設

- ・一般相談 3地区隔月開催 延べ 12回 相談件数 1件
窓口及び電話で対応 (事務局対応 20件)
- ・法律相談 3か所 4回開催 相談件数 15件
(西根 7件 松尾 5件 安代 3件)
- ・年金相談 3か所 3回開催 相談件数 2件
(西根 2件 松尾 0件 安代 0件)

(2) 日常生活自立支援事業

認知症高齢者や知的または精神障がい者など判断能力が十分でない人で、契約内容について判断できる能力を有していると認められる人を対象に、福祉サービス利用の援助や代行、日常的な金銭管理支援サービス提供について、葛巻町と岩手町を含めた広域基幹業務として実施。併せて対象者の判断能力によっては、法定後見などの成年後見制度への移行支援も実施。

- ・相談件数 計 449件 (八幡平市 297件 葛巻町 84件 岩手町 68件)
- ・契約件数 計 25件 (八幡平市 21件 葛巻町 1件 岩手町 3件)
- ・日常生活自立支援事業専門員兼成年後見コーディネーター 1人
生活支援員 11人
(西根 4人 松尾 1人 安代 2人 葛巻 2人 岩手 2人)

(3) 生活福祉資金貸付事業

県社協が事業主体。本会は岩手県社協から窓口業務の委託を受け、他の貸付制度が利用できない低所得世帯、障がい者世帯、高齢者世帯、生活保護世帯が対象。該当世帯の経済的自立と生活の安定が目的。民生児童委員の協力を得ながら支援及び相談にあたった。昨年に引きつづき新型コロナウイルス感染症による特例貸付について生活困窮者自立相談支援事業と連携し、貸付対応を行った。

- ① 総合支援資金 ・相談件数 0件 ・新規貸付 0件 ・貸付者総数 4件

② 福祉資金

ア 福祉費 ・相談件数 1件 ・新規貸付 0件 ・貸付者総数 4件

イ 緊急小口資金 ・相談件数 11件 ・新規貸付 1件 ・貸付者総数 4件

③ 教育支援資金 ・相談件数 5件 ・新規貸付 3件 ・貸付者総数 63件

④ 不動産担保型生活資金

・相談件数 0件 ・新規貸付 0件 ・貸付者総数 1件

⑤ 新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえた緊急小口資金等の特例貸付

ア 総合支援資金 ・相談件数 14件 ・新規貸付 14件 ・貸付者総数 28件

延長貸付 ・相談件数 2件 ・新規貸付 2件 ・貸付者総数 8件

再貸付 ・相談件数 6件 ・新規貸付 6件 ・貸付者総数 8件

イ 緊急小口資金 ・相談件数 18件 ・新規貸付 18件 ・貸付者総数 67件

(4) たすけあい資金貸付事業

本会が主体となり緊急一時的な生活費（限度額1件5万円、無利子、償還12カ月以内）を貸し付け。低所得世帯を対象に、民生児童委員が支援及び相談にあたった。

・新規貸付件数 9件（西根 9件 松尾 0件 安代 0件）

・貸付者総数 48人（西根 38人 松尾 6人 安代 4人）

(5) 生活困窮者自立相談支援事業

経済的に困窮し、最低限度の生活維持ができなくなるおそれがある人からの相談に応じ、必要な情報提供及び助言を行うとともに、支援の種類及び内容等を記載した計画の作成と、これに基づく様々な支援の提供を一体的かつ計画的に行った。

八幡平市から委託を受け、「はちまんたい暮らしの支援室」を設置、主任相談支援員（就労支援員兼務）及び相談支援員各1人を配置し、関係機関と連携し自立に向けて支援を行った。

① 相談件数

・新規相談 50件 ・延べ相談数 465件

② 支援実績

・プラン作成 1件 ・支援調整会議 12回 ・家庭訪問 41回

・同行訪問 4回 ・その他 4回（コミュニティセンターまたは市役所）

③ 関係機関との連携

・フードバンク岩手からの食料支援 16件

・I W A T E あんしんサポート事業による支援 延べ2回

④ 事業内容の周知

・事業について市民等への周知を図るため、広報紙「福祉だより」にて事業内容を紹介するとともに、チラシを作成し、市内全世帯等に配布した。

(6) フードバンク事業への協力（フードドライブ事業）

生活困窮のため食料の確保が出来ない世帯を支援するため、保存のきく食料品の寄付を市民に呼びかけ、受け付けた食料品を生活困窮者や福祉施設への食料支援活動をしているNPO法人フードバンク岩手へ届けたほか、市内の支援を必要とする家庭等に届けた。特に1月には市の協力のもと市役所、西根総合支所、安代総合支所に寄付

受付を設置し、期間を集中して食料品と日用品の寄付を呼びかけた。

・寄付件数 69件 ・総寄付食料重量 958.59kg

(7) 暮らしの応援プロジェクトの開催

ひとり親家庭や新型コロナウイルス感染症の影響で減収となった子育て世帯などを対象に寄付のあった食料品と日用品を届けた。

- ・開催日：令和4年1月23日（日）
- ・実施場所：八幡平市総合福祉センター、安代福祉センター
- ・当日の利用者は4世帯。後日、訪問等により31世帯に届けた。

(8) 生活困窮者緊急支援事業

生活困窮の状態にあると見受けられる市民に生活支援給付金の給付や食料支援を行った。

・生活支援給付金の給付 4件 ・食料支援 11件

(9) 歳末たすけあい義援金配分事業

八幡平市共同募金委員会による歳末たすけあい運動募金の配分を受け、次の対象者に義援金を伝達。

在宅者 933件（ひとり暮らし高齢者 893件、寝たきり高齢者 18件、
重度障がい児・者 10件、生活困窮世帯 12件）

(10) 生活支援体制整備事業

地域共生社会の実現を目指し、地域の支え合いの推進を目的に、令和3年度から令和5年度まで市の委託を受け事業を開始した。

専任職員として、第1層（市全域）生活支援コーディネーター1人、第2層（西根、松尾、安代圏域）生活支援コーディネーター3人を配置し、地域づくりを進めるうえでのつなぎ役として業務に当たった。

- ① 事業の開始と趣旨を広く周知するため、チラシを作成し配布。全世帯あて2回、ほか関係機関、団体などへ配布。また、市内公共施設や金融機関、商店などに対し、来訪者向けの事業紹介用ポケットティッシュ配置を随時依頼。
- ② 各種集いに参加した高齢者に、それぞれの生活状況を把握するため生活支援コーディネーターが聞き取りを実施。
- ③ 市内のケアマネージャーへ、在宅高齢者の生活についてのアンケートを実施。
- ④ 生活支援コーディネーターが状況把握を進めるため、民生児童委員協議会の例月定例会に出席、また、各コミュニティセンターを訪問し周知と協力を要請。
- ⑤ いきいきサロンなど高齢者事業の場面へ生活支援コーディネーターが出向き、自身と事業の紹介を行った。
- ⑥ 八幡平市生活支援体制整備事業協議体会議に年4回出席し、市との情報共有や意見交換を行ったほか、生活支援コーディネーター連絡会議を年15回開き、内部の調整と地域情報の共有を図った。
- ⑦ 県主催の生活支援コーディネーター養成研修のほか、全14回の関連研修を受講、参加した。

6 苦情受付件数

- (1) 生活福祉資金 1件 解決済み
- (2) 日常生活自立支援事業 1件 解決済み

7 会務の運営

社会福祉法人として、健全で適正な経営のために会務の運営に努めた。

- (1) 会長・副会長会議開催 15回
- (2) 理事会・評議員会開催 ・理事会 5回 ・評議員会 4回
- (3) 監事会・監査開催 ・監事監査4回 ・監事会1回 ・社会福祉法人指導監査 1回
- (4) 理事監事全員協議会開催 2回
- (5) 評議員選任・解任委員会 1回
- (6) 委員会開催 ・総務委員会 2回 ・広報委員会 3回 ・事業運営委員会 3回
・苦情解決事業第三者委員会 2回
- (7) 会員の加入促進
・一般会員 7, 450世帯 ・賛助会員 169人(183.5口)
- (8) 福祉基金 総額 9, 257万円(一部処分前9, 445万円)
福祉車両を購入するため、福祉基金の一部処分として188万円を取り崩した。
- (9) 本所、支所の運営
事務・事業の推進の拠点として本所1、支所2を置き、本所は法人全般的な運営、全市事業の企画、調整等を行った。支所は窓口業務のほか地域の特性を生かした福祉活動の推進に努めた。
- (10) 役職員研修会の実施
当法人の事業所、施設について運営状況を把握するため、施設見学を実施した。
期日：令和3年9月3日(金)
場所：市社会福祉協議会西根支所(旧八幡平営農経済センター)
市社会福祉協議会安代支所(安代福祉センター)
多機能型事業所ポパイの家
役職員16人参加
- (11) 職員の専門知識取得のための研修参加
職員の専門知識取得と資質向上を図るため、各種研修を受講した。
・社会福祉士通信課程短期養成コース

- 受講者 1 名 令和 4 年 1 月 1 5 日修了 社会福祉士（国家試験）取得
- ・ 自立相談支援事業従事者養成研修
受講者 1 人 修了
- ・ 生活困窮者自立支援制度人材養成研修テーマ別研修
受講者 2 人
- ・ コミュニティソーシャルワーカー（地域福祉コーディネーター）養成研修
受講者 1 人
- ・ 市町村社会福祉協議会新任職員研修会
受講者 3 人

(12) 各種実習生の受け入れと指導

- ・ 社会福祉援助技術現場実習（ポパイの家）大学生 1 人
- ・ 保育実習 I（ポパイの家） 専門学校生 1 人

8 関係機関・団体との連携

福祉関係機関・団体との連携を図り、福祉活動を推進した。

(1) 地区社会福祉推進協議会への支援

西根地区 4 団体 松尾地区 4 団体 安代地区 1 団体

(2) 八幡平市老人クラブ連合会への支援

事務局業務を実施。会員 1, 172 人、単位老人クラブ 51 クラブ
 単位老人クラブ補助金申請に係る事務手続き支援事業 26 クラブ 43 件
 内訳：2 回実施 17 クラブ 34 件
 1 回実施 9 クラブ 9 件

(3) 八幡平市民生児童委員協議会への支援

事務局業務を実施。民生児童委員 99 人、主任児童委員 7 人、計 106 人

(4) 八幡平市身体障害者福祉協会への支援

事務局業務を実施。会員 43 人
 岩手紫波地区身体障害者福祉協会事務局業務を実施

(5) 八幡平市母子寡婦福祉協会への支援

事務局業務を実施。会員 39 人

(6) 八幡平市手をつなぐ育成会への支援

事務局業務を実施。会員 16 人

(7) 共同募金への協力

民間福祉活動の財源を支える、共同募金活動へ全面的な参画を行った。

- ・赤い羽根募金及び歳末たすけあい募金
(戸別募金、法人募金、学校募金、職域募金、イベント募金、個人募金、その他の募金)

9 指定管理事業

(1) 安代福祉センター管理運営

市の指定管理を受け、施設を管理運営。

所在：岩手県八幡平市小柳田210番地1

構造：RC造平屋建1棟（593.72㎡）

利用者種別利用状況

種別 項目	社 協	福祉団体	公共団体	その他	計
件 数	14 件	24 件	7 件	0 件	45 件
使用人数	156 人	572 人	92 人	0 人	820 人

10 障がい者支援事業の推進

(1) 指定障害福祉サービス事業所（多機能型 ポパイの家）運営

障害者総合支援法による多機能型事業（就労継続支援B型と生活介護）を令和2年10月1日から実施。令和4年3月現在、利用定員は就労継続支援B型20人に対し20人が、生活介護13人に対し12人が契約を結んでいる。令和3年度は、新型コロナウイルス感染症に対する予防的欠席が多く、一日の平均利用者は28.6人、年間出勤率は89.3%であった。

作業は、大きくはリサイクル事業、受託事業、農作業事業、自主製品販売事業に分かれるが、地域に出向いて行うふるさと納税返礼品梱包作業、公共機関等の建物内清掃、農福連携事業としての草刈りや田植え、苗箱洗い等の作業などにも取り組み、利用者の自立した日常生活や社会生活が営めるように就労の機会を提供し、関係市町村、地域の福祉サービス事業者等と連携しながら利用者支援を行い、利用者の意思や希望を尊重した総合的なサービス提供を行った。

事業としては、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から予定していた1泊旅行は中止し、市内への日帰りレクリエーションや人数制限をしておこなったクリスマス会を行った。

新型コロナウイルス感染症拡大防止対策として毎朝の検温、常時マスク着用、手洗い、うがい、人ごみを避けるなどを徹底して健康管理をした。

実習は、社会福祉関係資格取得のための学生と職場体験実習の特別支援学校生2人を受け入れた。

また、事業所職員の確保や雇用定着を図り安定したサービス提供体制を整えるために、国が算定する処遇改善加算制度及び臨時特例交付金制度を活用し職員の処遇改善を実施した。

主な事業内容は次のとおり

- ① 開所日数 238日
- ② 利用者内訳
 - ・知的障がい 29人 ・身体障がい 1人 ・精神障がい 2人
 - ・年間延べ利用人数 6,849人
- ③ 作業内容
 - ア リサイクル事業
 - 空き缶の回収及び仕分け、一升瓶・ビール瓶の回収、新聞紙の回収
 - イ 自主製品販売事業
 - 手芸品作製（腕カバー、巾着袋、バッグなど）、EM製品作製、炭の梱包
 - ウ 受託事業
 - 豆選別、タオルたたみ、メール便配達、馬ふん堆肥の袋入れ、建物の清掃、ふるさと納税返礼品梱包
 - エ 農作業事業
 - さといも、ミニトマト、じゃがいも、ブルーベリー、かぼちゃ、姫神芋、農福連携（種まき、田植え、育苗箱洗い、草刈り、花育苗など）
 - オ 養鶏飼育事業
 - 採卵及び販売
 - カ 行事
 - 音楽療法 12回、運動療法 9回、日帰りレクリエーション、クリスマス会、お花見

事業種別収入内訳 (単位：円)

事業の種類	金額	事業の種類	金額
資源回収	1,040,077	たまご	81,600
自主製品(手芸等)	508,220	野菜	821,933
メール便	540,118	EM製品	58,953
受託事業(豆選別等)	3,158,686	授産(仕入れ販売)	272,800
合計		6,482,387	

④ 作業工賃支給額（令和3年度）

- ア 一人当たり平均年間工賃
 - B型平均年間工賃 246,639円
 - 生活介護平均年間工賃 43,865円
- イ 一人当たり平均1か月工賃
 - B型平均1か月工賃 20,639円
 - 生活介護平均1か月工賃 4,178円

※令和2年度平均1か月工賃 就労継続支援B型 18,446円
生活介護 6,812円

(参考：就労継続支援B型

盛岡地域の平均 16,928円、岩手県の平均 18,446円)

※令和元年度平均1か月工賃 就労継続支援B型 17,158円

(参考：就労継続支援B型

盛岡地域の平均 17,395円、岩手県の平均 19,363円)